

シグマ研究委員会ガンマ線生成核データW・G・
昭和59年度第3回会合議事録

1. 日 時 昭和59年10月12日（金） 13：30～17：30
2. 場 所 原研本部第6会議室
3. 出席者 浅見（哲），五十嵐，水本（原研），川合，肥田，
山室（NAIG），八谷（三井造船），井頭，北沢，
播磨（東工大），吉田（NAIG）（オブザーバー）

4. 配布資料

- (1) CASTHYコード改良版の入力フォーマット（五十嵐）
- (2) GNASHコードの新版GNASH-84コードに関する資料（川合）

5. 議 事

- (1) 北沢氏よりKnoxvill (Capture Gamma-Ray Spectroscopy and Related Topics, September 10-14) における国際シンポジウム及びChapel Hill (Fast Neutron Capture September 17-18) におけるワークショップの様子が話された。次回は3年後ベルギー及びスウェーデンで開催される予定。
- (2) 吉田氏から ^{239}Pu と ^{240}Pu のガンマ線生成核データの評価について，JAERI-memo 59-307に基づいて，話を聞いた。この評価では，中性子エネルギー500 keV以下ではCASTHYコードによる捕獲ガンマ線スペクトルと非弾性散乱ガンマ線の遷移確率データを，500 keV以上では，GNASHコードによる計算値をベースとしてファイルを作成した。核分裂ガンマ線スペクトルでは一貫してVerbinskiの測定値が採用された。
- (3) CASTHYコードにおける捕獲ガンマ線スペクトル計算のアルゴリズムに関していくつかの疑問が出され，検討することにした。